



内之倉成功議員

農政

高齢化社会での農政は

町長／集落営農を進める

内之倉 高齢化社会での農業の推進策は認定農家、集落営農を中心に展開するとあるが、指導体制は出来ているのか。

町長 本町の農業人口は、高齢化率7割と高くなっています。

今後は、認定農業者、専業農家だけでなく、高齢農家、兼業農家などの合意に基づいて、役割分担を明確にした集落営農を進めることが必要となつてきます。国県の補助事業を活用し、指導体制を構築して行きます。

河川激特の町民理解は

町長／説明会で理解と思う

内之倉 河川激特事業について、町民の理解は得られたか。また、町道、農道、耕地、河川の災害



集落営農説明会（佐志地区）

復旧は本年度で終わるのか。

町長 4地区での説明会に参加された方は理解されていると思います。

災害復旧は、河川が95件で70％は本年度で終わります。公共土木が257か所。耕地災害が現在まで799件で、12月に378件発注します。残りは新年度になります。林道についても29件査定が終わっています。

その他の質問
・合併特例道路整備事業について

定住対策

定住促進の更なる施策は

町長／企業誘致や住宅団地の促進



川口憲男議員

川口 定住促進は町の重要課題と考える。企業誘致、就業確保が第一であると思うが、成果と今後の取り組みは。

町長 本年4月に定住促進室を設置し、企業誘致や住宅団地への定住促進等を積極的に展開しています。

本町に立地されている企業の中にも工場増設の動きがあり、企業の意向に沿った拡充が図られるように対応して行きます。



湯田原ニュータウン（鶴田地区）

庁舎内の総合的整備は

町長／成果等を検証し計画を進める

町長 総合振興計画の実施計画において、成果等を検証し、今後のあるべき方向を見極め、総合的な調整を行い、具体的な事業を計画的に進めてまいります。

川口 定住促進のため、庁舎内の総合的整備を図り、ハード・ソフト面から各種事業の積極的展開をするとのことであるが、その成果と取り組みは。